



朝来市生野
地域包括支援センター
主任ケアマネジャー
北川慎一氏

兵庫県朝来市では、主任ケアマネジャーを軸とした「外部スーパービジョン制度」を約10年前から導入し、地域全体でケアマネジメントを支える体制づくりを進めてきた。生野地域包括支援センター主任ケアマネジャーの北川慎一氏に話を聞いた。

ケアマネの孤立防止

同市の人口は約3万人。市内には居宅介護支援事業所が約10事業所あり、29名のケアマネジャーが約2340人の要介護・要支援認定者を支援している。

外部スーパービジョン制度の仕組みは、包括主

事業所横断で人材育成

北川氏は「他事業所の視点をすることで、自分の考えを見直すきっかけ

クアは、△脳血管疾患△大
腿骨頸部骨折△心疾患△認
知症△誤嚥性肺炎の予防
の5つで、疾患に特有な
検討の視点や支援内容を整
理している。特に医療職を
はじめとした多職種連携の
必要性が大きいことを踏ま
えて設定された。

DXの立ち遅れもある
が、各種関係機関と連携す
るスキルが十分に育ってい
ないという課題も大きい。
ケアマネジャーの資質向
上に向けた制度として現在
は、資格更新に際して受講
が義務付けられている法定
研修がある。ケアマネジャ
ーを対象にした法定研修の

「無償労付

10月27日の社会保障審議会
介護保険部会では更新制を
廃止する案が提示され、構
成員はそれに大筋で合意し
た。ただし厚労省は今後も
定期的な研修参加を求める
構えを見せている。

構成員からは「研修より、
実務に即した継続的な学習
機会が重要」という声が寄
せられている。ケアマネジ
ャーの育成などを担う主任
になる」と語る。

〈12面へ続く〉